

# 令和6年度 一般会計予算

## 健康長寿福祉部 主要事業説明資料

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	1,289千円	1,021千円	268千円	615千円	課	生活福祉課	
	目	01 社会福祉総務費							
	事業	02 行旅死亡人等取扱事務	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源	
総合計画 計画項目	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進			1,289				0	
目的・趣旨	市内において、旅行中に病気になり救護者がいない方や死亡し引取者のいない方に対し、縁故者に代わって援助措置を行う。		主な財源	府負 行旅死亡人取扱費負担金				1,289	
事業概要	身元不明等により引取り手のない死亡人について、葬祭・埋葬する者がいないため、行旅病人及び行旅死亡人取扱法により、市で取り扱うことが定められている。 なお、市が支出した行旅死亡人等取扱費用については、その全額が京都府から市に交付される。								
	○葬祭・埋葬経費（5人分）	1,289千円							
	・遺骨保管謝金	150千円							
	・消耗品費	330千円							
	・官報掲載手数料	16千円							
	・火葬料、遺体搬送料、霊安室使用料ほか	793千円							

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部															
	項	01 社会福祉費	1,210千円	1,179千円	31千円	727千円	課	生活福祉課															
	目	01 社会福祉総務費																					
	事業	03 暮らしの資金貸付事業		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源														
総合計画 計画項目	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進						180	1,030															
目的・趣旨	<p>一時的に生活の不安定な低所得世帯、又は債務整理による生活再建に際し一時的に生活が困窮している世帯に対し、暮らしのために緊急に必要とする資金の貸付けを行い、世帯の自立を助長し、生活の安定を支援する。</p>		主な財源	諸収入	暮らしの資金貸付金元金収入				180														
事業概要	<p>○暮らしの資金貸付金</p> <p>申請者から利用目的や経済状況等を聴き取り調査し、貸付審査会に諮り1世帯当たり200千円を限度として、必要な資金を貸し付ける。</p> <p>&lt;参考&gt;貸付実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>件 数</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度（1月まで）</td> <td>12件</td> <td>1,170千円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>6件</td> <td>550千円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>4件</td> <td>310千円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>3件</td> <td>300千円</td> </tr> </tbody> </table>		年 度	件 数	金 額	令和5年度（1月まで）	12件	1,170千円	令和4年度	6件	550千円	令和3年度	4件	310千円	令和2年度	3件	300千円	1,000千円	<p>○事務消耗品</p> <p>○納付書及び督促状印刷費</p>				2千円 52千円
	年 度	件 数	金 額																				
令和5年度（1月まで）	12件	1,170千円																					
令和4年度	6件	550千円																					
令和3年度	4件	310千円																					
令和2年度	3件	300千円																					
<p>○貸付金管理台帳システム保守委託料</p> <p>暮らしの資金借入者の返済状況などをシステムで管理</p>			156千円																				

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	22,719千円	22,728千円	△ 9千円	23,537千円	課	生活福祉課	
	目	01 社会福祉総務費							
	事業	05 民生児童委員活動事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源	
総合計画 計画項目	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進			13,129				9,590	
目的・趣旨	民生委員・児童委員の活動を支援するため、費用弁償等の活動費、地域福祉活動促進費等の補助金を交付し、委員活動の充実を図る。		主な財源	府補	民生委員・児童委員活動費補助金	12,040			
				府補	民生児童委員協議会会長活動費補助金	71			
				府補	民生児童委員協議会地域福祉活動促進費補助金	1,018			
事業概要	○研修会等経費		943千円	○民生委員・児童委員活動費補助金		21,776千円			
	・旅費	23千円	・活動費（府補助金）	60,200円×200人	12,040千円				
	・有料道路通行料	6千円	・活動費（市補助金）	42,970円×200人	8,594千円				
	・バス運転委託料	506千円	・会長活動費（府補助金）	11,920円×6人	72千円				
	・燃料費（マイクロバス、公用車）	56千円	・会長活動費（市補助金）	8,700円×6人	52千円				
	・バス借上料（全員研修会）	264千円	・地域福祉活動促進費（府補助金）	6民児協	1,018千円				
	・会場借上料	58千円	各町民生（児童）委員協議会委員数						
	・冷暖房借上料	12千円	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計
	・機械器具借上料	2千円	41人	31人	45人	26人	19人	38人	200人
	・消耗品費	16千円	※現委員の任期：令和4年12月1日～令和7年11月30日						

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	847千円	873千円	△ 26千円	782千円	課	生活福祉課	
	目	01 社会福祉総務費							
	事業	06 戦没者追悼事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源	
総合計画 計画項目	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進			63				784	
目的・趣旨	戦没者を追悼し、平和を祈念するため、全国戦没者及び京都府戦没者追悼式へ参列するとともに、京丹后市戦没者追悼式を開催する。		主な財源	府補 援護事務交付金				63	
事業概要	○全国戦没者追悼式（参列者旅費：市内～京都市内）		68千円	○京丹后市戦没者追悼式		762千円			
	開催日：8月15日 開催場所：日本武道館（東京都） 参加者：京丹後市の戦没者遺族6人（予定）			開催日：11月上旬 開催場所：京都府丹後文化会館 参加者：戦没者遺族200人程度					
事業概要	○京都府戦没者追悼式（同行職員旅費）		4千円	・消耗品費（祭壇等）、燃料費（送迎バス）		295千円			
	開催日：10月中旬 開催場所：京都国際会館（京都市） 参加者：京丹後市の戦没者遺族99人（予定）			・クリーニング手数料、郵送料		64千円			
事業概要				・バス運転委託料		36千円			
				・送迎バス借上料、会場借上料		367千円			
事業概要				○その他経費		13千円			
				・普通旅費（事務担当者会議）					

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	69,233千円	68,238千円	995千円	69,674千円	課	生活福祉課
	目	01 社会福祉総務費						
	事業	08 社会福祉協議会運営費助成事業						
総合計画 計画項目	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源	69,233
目的・趣旨	京丹後市社会福祉協議会の事務職員の人件費補助を行うことで、円滑な協議会運営を支援し、地域福祉活動の充実を図る。	主な財源						
事業概要	<p>○社会福祉協議会運営費補助金 69,233千円</p> <p>本所（弥栄支所含む）及び5支所の事務職員の人件費</p> <p>&lt;事務職員人数内訳&gt;</p> <p>補助対象職員数16人（正職員15人、嘱託職員1人）</p>							

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	350千円	400千円	△ 50千円	250千円	課	生活福祉課
	目	01 社会福祉総務費						
	事業	09 災害見舞金等事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進							350

目的・趣旨	災害（風水害・火災等）により被災された市民に対し、見舞金を支給する。	主な財源	
-------	------------------------------------	------	--

事業概要	○災害見舞金	350千円	
	京丹後市災害見舞金等支給要綱に基づき、被害状況に応じ見舞金を支給。		
<区分別見舞金額一覧>			
		金額	
風水害・火災等	住家	全焼・全壊	50千円
		半焼・半壊	30千円
		部分焼・部分壊	20千円
		床上浸水	20千円
	非住家	全焼・全壊	30千円
		半焼・半壊	20千円
		部分焼・部分壊	10千円

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	14,789千円	15,044千円	△ 255千円	13,661千円	課	生活福祉課
	目	01 社会福祉総務費						
	事業	11 峰山総合福祉センター管理事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進						732	14,057
目的・趣旨	福祉事務所としての峰山総合福祉センターの維持管理のほか、市民や各種団体に会議・イベント等で幅広く活用していただけるよう設備機能を維持管理する。		主な財源	使用料	公有財産使用料			71
				使用料	峰山総合福祉センター使用料			661
事業概要	○センター維持管理経費		14,789千円					
	・消耗品費（清掃・衛生消耗品、蛍光灯ほか）		110千円					
	・燃料費（冷暖房用灯油代）		2,800千円					
	・光熱水費（電気、上下水道）		5,400千円					
	・修繕料（消防設備修繕ほか）		1,100千円					
	・通信運搬費（FAX通信料、火災通報用回線通信料）		108千円					
	・手数料（貯水槽法定検査、地下タンク検査）		116千円					
	・宿日直業務委託料（業務時間外、休日等貸館対応）		1,642千円					
	・施設清掃委託料（センター内清掃）		495千円					
	・設備維持管理及び保守点検業務委託料 （エレベーター保守、自家用電気工作物保安管理、消防設備点検ほか）		2,643千円					
・土地借上料（駐車場）		350千円						
・清掃用具借上料		25千円						



予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	1,128千円	1,139千円	△ 11千円	7,212千円	課	生活福祉課
	目	01 社会福祉総務費						
	事業	13 災害時要配慮者支援事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進							1,128
目的・ 趣旨	<p>災害時要配慮者避難支援プランに基づき、災害時に支援を要する要配慮者の避難支援体制を確立することを目的に、台帳の定期更新及び個別避難計画の充実を図るとともに、関係機関との情報共有を図り、災害に備えた地域や福祉事業所等の協力体制づくりを推進する。</p>		主な財源					
事業概要	<p>○個別避難計画作成・更新経費 608千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別避難計画作成協力謝金（福祉事業所職員60人） 240千円</li> <li>・通信運搬費（区長・支援者等へ台帳を送付） 235千円</li> <li>・消耗品費 29千円</li> <li>・ライセンス使用料（地図製品複製利用許可） 104千円</li> </ul> <p>○災害時要支援者台帳システム 520千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム保守委託料 520千円</li> <li>14台分（生活福祉課3台、総務課1台、各市民局6台、消防4台）</li> </ul> <p>（参考） 避難行動要支援者登録者数：1,315人（令和6年1月末現在）</p>							

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	1,200千円	1,200千円	0千円	0千円	課	長寿福祉課
	目	01 社会福祉総務費						
	事業	16 介護福祉士養成奨学金貸与事業		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他
総合計画 計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり						600	600
目的・趣旨	市の福祉体制の充実を図るため、本市域の福祉施設において介護福祉士として従事しようとする意思を有する者に対して奨学金を貸与する。		主な財源	諸収入 介護福祉士養成奨学金返還金 600				
事業概要	<p>○介護福祉士養成奨学金貸与金 1,200千円</p> <p>介護福祉士養成学校等の修学に要する資金として、奨学金を貸与。</p> <p>月額50千円×12月×2人=1,200千円</p> <p>対象者：介護福祉士を養成する学校等に入学予定又は在学中の者</p> <p>貸与額：月額50千円（最大2年間）</p> <p>返還の免除：介護福祉士の資格を取得し、京丹後市内の介護事業所や障害福祉サービス事業所に一定期間勤務した場合は、貸与金の返還を免除。</p> <p>【参考】令和5年度貸与者：1人</p>							

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	2,725千円		2,985千円		△ 260千円		2,389千円			課
	目	01 社会福祉総務費										
	事業	17 権利擁護支援体制整備推進事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
総合計画 計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		282	2,059								384
目的・趣旨	<p>成年後見制度の利用の促進に関する法律に基づき、判断能力が十分でない高齢者、知的障害者及び精神障害者等が、成年後見制度をはじめとした権利擁護支援を円滑に受けられる体制づくりを行い、身近な住み慣れた地域で安心して生活できる「ささえあい」による権利擁護の推進を図る。</p>		主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金	238						
		国補		生活困窮者自立支援補助金	44							
		府補		障害者地域生活支援事業費補助金	119							
		府補		地域医療介護総合確保事業費補助金	1,940							
事業概要	<p>成年後見サポートセンター（中核機関）による取組</p> <p>(1) 成年後見制度に関する相談支援  (2) 成年後見制度に関する広報及び啓発  (3) 権利擁護支援に係る人材の養成及び支援  (4) 権利擁護支援に係る関係機関等との連携及び調整</p> <p>○権利擁護支援体制あり方検討委員会開催 222千円</p> <p>成年後見制度利用促進のための地域連携ネットワークの構築、権利擁護支援を担う人材育成体制等の構築、計画の進捗管理等に向けた専門職や関係機関との検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>委員謝金（報償費及び費用弁償） 206千円  （委員7人×3回、協議会オブザーバー8人×1回）</li> <li>消耗品費（事務用品） 10千円</li> <li>郵便代 6千円</li> </ul>			○普及啓発・担い手養成事業の実施 2,357千円								
					成年後見制度をはじめとした権利擁護支援に関する制度等の普及啓発及び担い手養成などを実施							
					・普及啓発・担い手養成事業委託料 2,357千円							
					○相談支援体制等に関する経費 146千円							
					相談支援に携わる職員の研修やケース会議開催時等の専門職派遣等に関する経費							
					・アドバイザー謝金 60千円							
					・職員旅費（打ち合わせ、会議、研修） 54千円							
					・駐車場使用料 3千円							
					・備品購入費（スピーカーフォン拡張マイク等） 29千円							

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	2,563千円	3,361千円	△ 798千円	1,374千円	課	長寿福祉課
	目	01 社会福祉総務費						
	事業	18 介護人材育成支援事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり							2,563
目的・趣旨	介護サービス又は障害福祉サービスに従事する介護職員の確保及び資質の向上を図るため、資格取得に係る研修受講料の一部を支援する。		主な財源					
事業概要	<p>○介護人材育成補助金（法人向け） 2,191千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護職員初任者研修受講費補助 480千円</li> <li>介護職員実務者研修受講費補助 1,600千円</li> <li>主任介護支援専門員研修受講費補助 111千円</li> </ul> <p>【対象研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護職員初任者研修（補助率：2/3、上限60千円）</li> <li>介護職員実務者研修（補助率：2/3、上限80千円）</li> <li>主任介護支援専門員研修（補助率：10/10）</li> </ul> <p>【対象者】</p> <p>下記の①及び②に該当する職員に係る対象経費を負担した市内の介護事業所等を運営する法人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①研修受講前から雇用している職員であること</li> <li>②研修修了後、当該法人に3か月以上勤務した職員であること</li> </ul> <p>【対象経費】</p> <p>受講料、手数料、教材費</p>		<p>○介護資格取得費用補助金（個人向け） 340千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護職員初任者研修受講費補助 180千円</li> <li>介護職員実務者研修受講費補助 160千円</li> </ul> <p>【対象研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護職員初任者研修（補助率：2/3、上限60千円）</li> <li>介護職員実務者研修（補助率：2/3、上限80千円）</li> </ul> <p>【対象者】</p> <p>対象経費を負担した下記の①及び②に該当する個人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①対象研修の修了後、京丹後市内の介護事業所等に就職すること</li> <li>②京丹後市内の介護事業所等に介護職員として3か月以上勤務すること</li> </ul> <p>【対象経費】</p> <p>受講料、手数料、教材費</p> <p>○消耗品費（チラシ用紙） 32千円</p>					

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	167,743千円	0千円	167,743千円	96,754千円	課	生活福祉課
	目	01 社会福祉総務費						
	事業	21 低所得世帯等臨時特別給付金給付事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		167,743					0
目的・趣旨	エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担増を踏まえ、家計への影響が大きい低所得世帯のうち、令和6年度に新たに住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯に対して、1世帯当たり10万円を支給、また給付加算として、当該世帯において扶養されている18歳以下の児童1人当たり5万円を支給する。		主な財源	国補 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金				167,743
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○会計年度任用職員任用経費（事務補助員1人） 1,003千円</li> <li>    コールセンター等対応業務 R6.5月～8月（4か月）</li> <li>    ・報酬、共済費等 1,003千円</li> <li>○職員手当等 200千円</li> <li>    ・時間外勤務手当 200千円</li> <li>○需用費 60千円</li> <li>    ・消耗品費、印刷製本費 60千円</li> <li>○役務費 480千円</li> <li>    ・通信運搬費 287千円</li> <li>    ・手数料 193千円</li> <li>○負担金、補助及び交付金 166,000千円</li> <li>    ・京都府自治体情報化推進協議会システム改修負担金 500千円</li> <li>    ・住民税均等割非課税世帯に対する臨時特別給付金 125,000千円</li> <li>    ・住民税均等割のみ課税世帯に対する臨時特別給付金 32,000千円</li> <li>    ・低所得者の子育て世帯加算給付金 8,500千円</li> </ul>		<p>【低所得世帯等への給付金事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○支給対象世帯（基準日：未定）</li> <li>    ①新たに令和6年度住民税均等割非課税世帯又は均等割のみ課税世帯</li> <li>    ※令和5年度での住民税非課税世帯給付金（家計急変世帯含む）及び住民税均等割のみ課税世帯給付金の給付対象者を除く。</li> <li>    ※市町村民税均等割が課税されている者の扶養親族等のみで構成される世帯を除く。</li> <li>    ②低所得者の子育て世帯加算給付金</li> <li>        ①の世帯のうち18歳以下の児童を養育する世帯</li> <li>○給付額 ①1世帯当たり10万円</li> <li>            ②児童1人当たり5万円</li> <li>    ※申請不要（プッシュ型）※一部申請要</li> </ul>					

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	444千円	530千円	△ 86千円	0千円	課	生活福祉課
	目	01 社会福祉総務費						
	事業	22 健康と福祉のまちづくり審議会事業						
総合計画 計画項目	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
								444
目的・趣旨	「重層的支援体制整備事業実施計画」、「第3次健康増進計画」について、健康と福祉のまちづくり審議会を設置し、計画及び計画の中間評価のための審議を行うもの。		主な財源					
事業概要	○健康と福祉のまちづくり審議会経費 444千円 ・審議会委員報酬 296千円 審議会 4千円×14人×3回 4千円×2人×1回 重層的支援部会 4千円×8人×3回 健康づくり推進部会 4千円×6人×1回 ・費用弁償 132千円 ・通信運搬費 16千円		<健康と福祉のまちづくり審議会> 委員数：14人 任期：令和6年4月～令和7年3月 審議事項：重層的支援体制整備事業実施計画（令和7～8年度） 第3次京丹後市健康増進計画（令和4～8年度）					

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	14,927千円	12,549千円	2,378千円	10,315千円	課	生活福祉課
	目	01 社会福祉総務費						
	事業	50 社会福祉総務一般経費	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進							14,927
目的・趣旨	福祉事務所運営を円滑に行うための経費や、母子寡婦福祉会、障害者団体などの活動に対し助成することにより、ひとり親家庭等の自立や障害者の社会参加を促進し福祉の向上を図る。		主な財源					
事業概要	○社会福祉業務運営に係る一般経費 6,662千円 ・福祉事務所共通物品購入経費 3,004千円 (事務用品、封筒、事務機器消耗品ほか) ・公用車(18台)の維持管理経費 3,263千円 (修繕料、燃料費、自動車登録手数料、保険料ほか) ・職員旅費(会議ほか) 202千円 ・近畿ブロック都市福祉事務所長連絡協議会負担金 8千円 ・各種講習会受講負担金 85千円 ・安全運転管理者講習会負担金、運転経歴証明書手数料 11千円 ・防火管理者講習会受講負担金 6千円 ・ごみ持込処理手数料、テレビ受信料 83千円		○社会福祉団体事業補助金 1,525千円 ・障害者団体活動補助金 1,025千円 ・母子寡婦福祉会活動補助金 500千円 ○会計年度任用職員任用経費(事務補助員・2人) 6,718千円 ○旧丹後保健センター管理経費 22千円 ・光熱水費(電気) 5千円 ・消防設備等保守点検委託料 17千円					

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	18,111千円	15,454千円	2,657千円	14,632千円	課	生活福祉課
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費						
	事業	01 自立相談支援事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		12,650				282	5,179
目的・趣旨	くらしやしごとに関して幅広い相談を来所・訪問・Webなどの方法で受け付けられる相談体制を整え、多様で複合的な問題を抱える生活困窮者に対して、個別的、包括的、かつ計画的な伴走型の支援によって自立の促進を図るとともに、生活困窮者支援を通じた地域内外のネットワークの構築により、支え合い、助け合う地域づくりを推進する。		主な財源	国負	生活困窮者自立支援負担金	9,326		
				国補	生活困窮者自立支援補助金	3,324		
				諸収入	寄り添い支援総合センター-光熱水費負担金	282		
事業概要	○会計年度任用職員任用経費（自立相談支援員・4人）		15,580千円					
	○その他経費		2,531千円					
	・自立相談支援員研修等旅費、職員旅費ほか		173千円					
	・通信運搬費（電話、光ネットワーク、郵便）		468千円					
	・相談支援等公用車経費（自動車借上、保険、修繕、燃料費）		582千円					
	・消耗品（コピー料、事務消耗品）		280千円					
	・光熱水費、灯油・ガス代		627千円					
	・施設修繕料		30千円					
	・コピー機借上料		111千円					
	・ソフトウェア使用料（ウイルス対策ソフト）		78千円					
・Web相談用クラウドサービス利用料		22千円						
・備品購入費（自立相談支援員用ノートPC1台更新）		160千円						



予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	1,045千円	2,720千円	△ 1,675千円	2,379千円	課	生活福祉課
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費						
	事業	02 離職者等支援事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		742					303
目的・趣旨	<p>離職等により経済的に困窮し、住宅喪失又は住宅喪失のおそれのある方に対して住居の確保のために住居費を支給し、また、住居を喪失している方に対しては、緊急一時的に宿泊場所を提供するなど、再就労等に向けた居住支援を行う。</p>		主な財源	国負	生活困窮者自立支援負担金	416		
				国補	生活困窮者自立支援補助金	326		
事業概要	○離職者住宅支援給付事業補助金		555千円					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規申請分（2件 × 3か月） 273千円</li> <li>・延長申請分（1件 × 3か月） 141千円</li> <li>・再延長申請（1件 × 3か月） 141千円</li> </ul> ※最大9か月							
事業概要	○一時生活支援		490千円					
	<p>宿泊施設等との賃貸借契約により、必要時に居室を借り上げて宿泊と昼食を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用料</li> </ul> 7千円（1泊3食）× 70泊		490千円					

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	18,463千円	18,063千円	400千円	18,896千円	課	生活福祉課
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費						
	事業	03 就労準備支援事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		12,222					6,241
目的・趣旨	「黒部の居場所ひまわり」を拠点に、直ちに一般就労することが困難な生活困窮者及び生活保護受給者に対して、就労への準備として生活習慣の形成や社会性などの基礎能力向上、事業所等での就労体験などによる技術や知識の習得及び個々の適正の見極め等を計画的かつ一貫して支援する。		主な財源	国補 生活困窮者自立支援補助金				12,222
事業概要	○会計年度任用職員任用経費（自立相談支援員・1人） 3,118千円 ○就労準備支援事業委託料 14,502千円 ・通所型訓練による就労準備支援事業 ①内務作業（木工・組立作業ほか）による就労体験事業 7,568千円 ②農業・里山活用による就労体験事業 6,732千円 上記の事業を一体的に委託し、旧黒部保育所で常設型の訓練を実施。 ・短期訓練による就労準備支援事業（合宿型就労体験） 202千円 京都自立就労サポートセンターの開催する短期訓練に参加し、一般就労に向けたスキルアップを支援。		○その他経費 843千円 ・就労支援員研修等旅費 124千円 ・相談支援等公用車経費（保険、修繕、燃料費） 90千円 ・消耗品費（コピー用紙、事務消耗品） 40千円 ・燃料費、光熱水費 460千円 ・施設等維持管理経費（保険料、修繕料、保守委託料ほか） 109千円 ・ソフトウェア使用料（ウイルス対策ソフト） 20千円					

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	3,511千円	3,011千円	500千円	710千円	課	生活福祉課
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費						
	事業	04 子どもの学習支援事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		1,754					1,757
目的・趣旨	<p>貧困の連鎖を防止するため、被保護世帯の子どもを中心に、学習支援員が対象世帯に直接訪問し、子どもの学習支援と併せて家庭の生活環境改善や養育支援を行う。</p>		主な財源	国補 生活困窮者自立支援補助金				1,754
事業概要	<p>○会計年度任用職員任用経費（学習支援員・2人）</p> <p>○その他経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費（学習用教材）</li> <li>・ソフトウェア使用料（ウィルス対策ソフト）</li> </ul>		3,491千円					
			20千円					
			10千円					
			10千円					

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	7,375千円	6,784千円	591千円	6,500千円	課	生活福祉課
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費						
	事業	05 家計改善支援事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		4,666					2,709
目的・趣旨	生活困窮者の家計状況の把握、債務整理及び将来に向けたキャッシュフローの作成等を支援することにより、家計改善を図る。		主な財源	国補 生活困窮者自立支援補助金				4,666
事業概要	○生活困窮者相談支援事業委託料 7,375千円 委託先：京丹後市社会福祉協議会 社会福祉協議会の生活福祉資金貸付事業や日常生活自立支援事業等の家計にまつわる事業と連携することで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により拡充した生活福祉資金の特例貸付の償還の対応などへの一貫した相談支援を実施。							

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	20,548千円	24,133千円	△ 3,585千円	0千円	課	生活福祉課
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費						
	事業	06 重層的支援体制整備移行準備事業						
総合計画 計画項目	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
			12,693					7,855
目的・趣旨	<p>国が推進する重層的支援体制整備事業へ向けて、新しいコミュニティの推進と連動する地域共生ステーションにより、支え合い助け合う地域福祉を推進する。</p> <p>また、令和5年度に続き、京丹後市重層的支援体制整備事業庁内検討委員会において、地域共生社会を目指した事業及び事業体制の検討を進める。</p>		主な財源	国負	生活困窮者自立支援負担金			3,318
				国補	生活困窮者自立支援補助金			9,375
事業概要	<p>○地域共生推進委託事業委託料 20,502千円</p> <p>委託先：京丹後市社会福祉協議会</p> <p>市民に身近な場所としての地域共生ステーション4か所（網野・丹後・弥栄・久美浜）に人員を配置し、福祉の総合的な地域課題の相談から個別の相談に対応できる体制の構築、また、地域の福祉活動が進むよう地域への支援を進める。</p> <p>※令和6年度から、生活福祉資金の特例貸付のフォローアップ事業は、京都府社会福祉協議会の委託事業へ移行</p>							
	<p>○費用弁償 46千円</p> <p>・重層的支援体制整備事業庁内検討委員会オブザーバー（1人・3回分）</p>							

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	3,588千円	3,588千円	0千円	3,411千円	課	障害者福祉課
	目	03 障害者福祉費						
	事業	01 通所費助成事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進							3,588
目的・趣旨	障害者の生活指導、職業訓練の場である共同作業所等への通所に必要な交通費を助成することで、利用者の経済的負担を軽減し、地域や社会への参加と自立を図る。		主な財源					
事業概要	○共同作業所等通所費助成金 申請見込数：15事業所、66人 助成見込額：3,588千円（4,530円/月×66人×12月） ※最も経済的な経路による公共交通機関の運賃の全額		3,588千円					

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	28,582千円	30,875千円	△ 2,293千円	27,494千円	課	障害者福祉課	
	目	03 障害者福祉費							
	事業	02 障害者等手当支給事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源	
総合計画 計画項目	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		21,435					7,147	
目的・趣旨	<p>常時介護の必要な在宅重度障害児者への手当支給により経済的負担を軽減し、障害者福祉の向上を図る。</p>		<p>主な財源</p>	<p>国負 特別障害者手当等給付費負担金</p>				21,435	
事業概要	○障害児福祉手当給付費		6,778千円						
	<p>支給対象：常時特別の介護を要する在宅の20歳未満の方  給付額：15,690円/月  給付見込：延べ432人 月平均受給者数：36人</p>								
○特別障害者手当給付費		21,804千円							
<p>支給対象：常時特別の介護を要する在宅の20歳以上の方  給付額：28,840円/月  給付見込：延べ756人 月平均受給者数：63人</p>									

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	1,507千円	1,586千円	△ 79千円	1,448千円	課	障害者福祉課	
	目	03 障害者福祉費							
	事業	03 じん臓機能障害者通院交通費助成事業		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進							1,507	
目的・趣旨	人工透析治療を行うため継続的な通院を必要とする透析患者が、公共交通機関や自家用車を利用して通院する際の交通費を助成し、経済的負担の軽減を図る。		主な財源						
事業概要	○じん臓機能障害者通院交通費助成金 1,507千円 対象者：透析治療を受けるため、公共交通機関又は自家用車を利用して通院している透析患者 申請見込数：33人/月 助成額：通院に要した交通費について2分の1の額（1か月当たり5,000円上限） ※ 自家用車利用の場合の交通費は、医療機関までの距離が片道20km以上で公共交通機関での通院が困難と認められる場合に、医療機関までの往復の距離に25円を乗じて得た額								



予算科目	款	03 民生費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	1,894,474千円		1,770,022千円		124,452千円		1,745,350千円			
	目	03 障害者福祉費									課	障害者福祉課
	事業	04 障害福祉サービス事業										
総合計画 計画項目	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
目的・趣旨	障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、一人ひとりの状態に合った障害福祉サービスの給付その他の支援を行い、障害者福祉を推進する。		主な財源	国負	介護給付・訓練等給付費負担金	894,275						
				国負	障害児通所給付費負担金	46,515						
				府負	介護給付・訓練等給付費負担金	447,137						
				府負	障害児通所給付費負担金	23,257						
				府補	障害者福祉サービス等利用支援事業費補助金	1,958						
				府補	医療的ケア児者等福祉サービス利用等促進事業補助金	177						
事業概要	○自立支援給付審査支払手数料 介護給付費等支払に係る国保連合会事務手数料		2,285千円	○障害福祉サービス介護給付・訓練等給付費		1,746,536千円						
	○障害者虐待緊急保護委託料 障害者虐待に係る緊急保護措置費用		13千円	・介護給付分（居宅介護・生活介護・施設入所等）		1,133,076千円						
	○障害者福祉サービス等利用支援負担金 京都府自立支援医療利用者負担事業（精神通院医療等）市負担分		247千円	・訓練等給付分（グループホーム・就労支援等）		592,459千円						
	○障害者福祉サービス等事業所への助成 ・最重度強度行動障害者特別支援補助金（単独）		3,365千円	・特定障害者特別給付費（低所得者の施設利用分）		21,001千円						
	・医療的ケア者受入体制整備補助金（単独）		2,443千円	○特例介護給付・訓練等給付費（基準該当事業所利用分等）		950千円						
	・医療型短期入所受入体制強化事業補助金		300千円	○高額障害者福祉サービス給付費（複数サービス・他制度併給分等）		416千円						
	・医療的ケア児等短期入所初期アセスメント事業補助金		35千円	○障害者福祉サービス等利用支援費（自己負担緩和事業分）		4,180千円						
・医療的ケア児等相談支援調整事業補助金		20千円	○障害児支援費（児童発達支援・放課後等デイサービス等）		80,597千円							
			○計画相談支援費		53,087千円							

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	22,346千円	23,116千円	△ 770千円	27,264千円	課	障害者福祉課
	目	03 障害者福祉費						
	事業	05 自立支援医療事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		10,950	5,675				5,721
目的・趣旨	障害児者等が障害を除去又は軽減するための医療を受けた際の必要な医療費を公費で負担し、経済的負担の軽減を図る。		主な財源	国負	障害者自立支援医療費負担金			10,950
				府負	障害者自立支援医療費負担金			5,475
事業概要	○自立支援医療（更生医療）給付費		8,829千円	○自立支援医療特別対策事業給付費				400千円
	対象医療：身体障害者手帳に記載のある障害を除去又は軽減するための、心臓や関節の手術、血液透析など 財源内訳：国1/2、府1/4			対象医療：呼吸器・直腸・膀胱機能障害3級の手帳所持者が、在宅酸素療法、直腸・膀胱機能障害の原因疾病の治療をするもの 財源内訳：府1/2				
事業概要	○自立支援医療（育成医療）給付費		280千円	○自立支援医療（更生医療）審査支払事務手数料				30千円
	対象医療：体に障害がある又は障害が残ると思われる病気にかかっている18歳未満の児童が、手術等を行うことでその治療効果が期待できるもの 財源内訳：国1/2、府1/4			○自立支援医療（育成医療）審査支払事務手数料				3千円
事業概要	○自立支援医療（療養介護医療）給付費		12,792千円	○自立支援医療（療養介護医療）審査支払事務手数料				8千円
	対象医療：障害福祉サービスの療養介護の支給決定を受けた者に係る医療 財源内訳：国1/2、府1/4			○自立支援医療特別対策事業審査支払事務手数料				4千円

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部																
	項	01 社会福祉費	14,000千円	14,000千円	0千円	18,996千円	課	障害者福祉課																
	目	03 障害者福祉費																						
	事業	06 補装具事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源																
総合計画 計画項目	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		7,000	3,500				3,500																
目的・趣旨	身体障害者及び身体障害児の身体機能を補完又は代替する補装具を給付し、日常生活及び社会生活を支援する。		主な財源	国負	障害児者補装具給付費負担金			7,000																
				府負	障害児者補装具給付費負担金			3,500																
事業概要	○障害児者補装具給付費 14,000千円		<p>身体障害児者の補装具の購入、修理に係る費用を支給</p> <p>※ 基準額の原則1割が自己負担であるが、身体障害児の補装具に係る自己負担分については、市の独自施策として全額公費で負担</p> <p>【見積額内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>購入</th> <th>修理</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障害者</td> <td>7,890千円</td> <td>971千円</td> <td>8,861千円</td> </tr> <tr> <td>障害児</td> <td>4,973千円</td> <td>166千円</td> <td>5,139千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12,863千円</td> <td>1,137千円</td> <td>14,000千円</td> </tr> </tbody> </table>							購入	修理	合計	障害者	7,890千円	971千円	8,861千円	障害児	4,973千円	166千円	5,139千円	合計	12,863千円	1,137千円	14,000千円
		購入							修理	合計														
障害者	7,890千円	971千円	8,861千円																					
障害児	4,973千円	166千円	5,139千円																					
合計	12,863千円	1,137千円	14,000千円																					

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	160,873千円		163,433千円		△ 2,560千円		141,035千円			課
	目	03 障害者福祉費										
	事業	07 地域生活支援事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
総合計画 計画項目	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		33,064	18,581		10,000		99,228				
目的・ 趣旨	障害のある方が地域の中で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、総合的に支援する体制をつくり、障害者福祉の向上を図る。		主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金	33,064						
				府補	きょうと地域連携交付金	2,000						
				府補	障害者地域生活支援事業費補助金	16,532						
				府補	小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業費補助金	49						
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金	10,000						
事業 概要	【市町村必須事業】	104,451千円	【市町村任意事業】	46,483千円								
	○地域活動支援センター事業	48,000千円	○日中一時支援事業（日中活動の場の提供、一時預かり等）	45,647千円								
	創作的活動等の機会の提供、社会との交流を促進するための支援		○身体障害者訪問入浴事業	782千円								
	○日常生活用具給付事業	18,229千円	○精神障害者社会復帰事業経費（2グループ・毎月教室開催）	36千円								
	障害児者等に、日常生活上の利便性を高めるための用具を給付		○生活支援事業（障害者の日常生活上必要な訓練等）	18千円								
	○障害者相談支援事業	18,920千円	【その他事業】	9,939千円								
	障害福祉サービスの利用支援等（相談支援事業所2事業所へ委託）		○福祉タクシー利用料・ガソリン費用助成事業等経費	5,224千円								
	○移動支援事業	8,250千円	○発達支援相談事業（児童発達相談支援事業所へ委託）	【子育て支援課】								
	屋外移動の困難な障害者等が社会生活上不可欠な外出等に支援員を派遣			3,580千円								
	○障害児通学支援事業	10,074千円	○福祉機器等購入、自動車運転免許取得・改造助成金	800千円								
	児童が聾学校に通学する際に同行する支援員を派遣		○京都府北部障害者歯科診療所運営費等補助金	193千円								
	○成年後見制度利用等経費	978千円	○小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付費	99千円								
	成年後見制度の申立経費、後見人等の報酬を助成		○障害者虐待防止対策経費（専門職派遣謝金）	25千円								
		○生活サポート事業（在宅障害者に居住介護従事者等を派遣）	18千円									

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	7,786千円		7,885千円		△ 99千円		8,393千円			
	目	03 障害者福祉費									課	障害者福祉課
	事業	08 障害者就労支援事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
総合計画 計画項目	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進						6,000		1,786			
目的・趣旨	<p>障害者の就労支援事業を実施し、就労及び雇用の促進を図る。 また、障害者の就労意欲の向上と市民との協働を図るための情報発信の場として、障害者施設製品常設店の運営を支援する。</p>		主な財源	繰入金 6,000 ふるさと応援基金繰入金 6,000								
事業概要	<p>○障害者雇用促進リーフレット作成 6千円 企業に対する障害者雇用と実習受入を啓発・促進する制度紹介リーフレットを作成・配布 商工会員等周知 2,500枚、関係機関等配架 500枚</p>				<p>○障害者施設製品販売支援事業 7,500千円 障害者施設製品の常設販売店「クリエイトショップくりくり」の運営経費の一部を助成することで、製品の販売促進や運営を支援</p>							
	<p>○障害者職場実習促進事業 280千円 障害者が市役所又は一般企業等で職場実習を実施した場合に、実習を支援した福祉施設等と受け入れた企業及び実習者に奨励金を支給 実習期間は、10日を基本に受入企業等と調整</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業実習奨励金（3千円/日） 30千円</li> <li>※ 障害者雇用促進法対象企業及び市役所は除く</li> <li>・福祉事業所等実習奨励金（4千円/日） 200千円</li> <li>・実習生実習奨励金（1千円/日） 50千円</li> </ul>											

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	健康長寿福祉部			
	項	01 社会福祉費	7,627千円		8,064千円		△ 437千円		6,883千円			課	障害者福祉課		
	目	03 障害者福祉費													
	事業	09 心のバリアフリー-促進事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源							
総合計画 計画項目	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		1,974	1,069								4,584			
目的・趣旨	<p>障害の特性を理解し、地域や職場、学校等において合理的配慮の提供や手話の普及が広がるよう障害者理解の促進と啓発事業を実施する。</p> <p>また、障害の特性に合ったコミュニケーション支援を行うことにより障害者の社会参加を促進する。</p>		主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金						1,974				
				府補	障害者地域生活支援事業費補助金						987				
				府補	軽・中等度難聴児支援事業費補助金						82				
事業概要	<p>○心のバリアフリー促進事業 地域、学校、事業者等向けの出前講座を実施 ・需用費（啓発リーフレット）</p> <p>○手話通訳者設置事業 手話通訳専任職員を設置し、聴覚障害者等の相談支援等を実施</p> <p>○手話奉仕員・要約筆記奉仕員養成事業 要約筆記奉仕員養成講座（全16回）を実施 聴覚障害者等との交流活動や社会参加の促進の支援者として期待される要約筆記奉仕員を養成</p> <p>○手話通訳者・要約筆記奉仕員派遣事業 聴覚及び音声言語機能障害者に、手話通訳者や要約筆記者を派遣</p>		17千円	17千円	5,980千円	475千円	301千円	○重度障害児者入院時コミュニケーション支援事業 重度障害児者の入院時に、コミュニケーション支援員を派遣	35千円	○全国手話言語市区長会会費	10千円	○難聴高齢者補聴器購入費助成金 補装具費支給制度における補聴器の対象とならない中等度の65歳以上の難聴高齢者で、市民税非課税世帯・生活保護世帯の者に対し、購入費用の一部を助成	600千円	○軽・中等度難聴児補聴器購入費等助成金 身体障害者手帳交付に至らない18歳未満の軽・中等度難聴児で、医師が必要性を認めた者に対し、購入等費用の一部を助成	209千円

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	16,443千円	23,119千円	△ 6,676千円	27,171千円		課
	目	03 障害者福祉費						
	事業	50 障害者福祉一般経費	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		218					16,225
目的・趣旨	障害者福祉に関する事業を行う上で必要となる事務経費及び障害 支援区分認定審査会の運営等に関する経費		主な 財源	国委 特別児童扶養手当事務委託金				218
事業概要	○事務費 3,603千円		○障害支援区分の認定に関する審査会運営経費 2,840千円					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報償金（研修会講師謝金、障害者相談員謝金） 508千円</li> <li>・旅費（相談員費用弁償、会議・研修等の出張旅費） 138千円</li> <li>・需用費（消耗品費、燃料費） 181千円</li> <li>・役務費（郵便代、クリーニング代、保険料） 102千円</li> <li>・委託料（システム保守及び導入、バス運転） 1,487千円</li> <li>・使用料（ソフトウェア、土地借上、有料道路等） 884千円</li> <li>・備品購入費（国保連合会伝送用機器更新費用） 89千円</li> <li>・負担金（丹後視力障害者福祉センター後援会、端末導入機<sup>等</sup>） 214千円</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・審査会委員報酬（16,100円/月×5人×12か月） 966千円</li> <li>・旅費（費用弁償、認定調査旅費） 89千円</li> <li>・需用費（審査会運営消耗品費） 56千円</li> <li>・役務費（審査会資料郵送代、医師意見書作成手数料） 691千円</li> <li>・委託料（障害支援区分認定調査） 949千円</li> <li>・使用料（障害支援区分調査時有料道路通行料） 89千円</li> </ul>					
		○障害者グループホーム整備補助金 10,000千円						
		地域移行等の推進のため、グループホームの整備に取り組む法人を支援 （補助率：1/2、上限額：5,000千円） 対象法人：（福）久美の浜福祉会（1棟）、（福）丹後大宮福祉会（1棟）						

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部																				
	項	01 社会福祉費	27,266千円	26,541千円	725千円	24,611千円	課	長寿福祉課																				
	目	04 高齢者福祉費																										
	事業	01 敬老祝い事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源																				
総合計画 計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり				12,000			15,266																				
目的・趣旨	高齢者の長寿を祝い、長年にわたる社会貢献に対して感謝するため、行政区等の団体が行う敬老祝い事業に対して補助金を交付するとともに、最高齢・長寿・米寿・喜寿の各対象者に対し、祝い品を贈呈する。		主な財源	市債 過疎地域持続的発展特別事業債（過疎対策債）				12,000																				
事業概要	○敬老祝い品 2,154千円 最高齢・長寿の方に祝い品及び祝い状を、米寿・喜寿の方に祝い品を贈呈 ・最高齢（3人）祝い品及び祝い状 57千円 ・長寿（100歳、65人）祝い品及び祝い状 344千円 ・米寿（88歳、501人）祝い品 562千円 ・喜寿（77歳、1040人）祝い品 1,167千円 ・最高齢及び長寿祝い表彰状筆耕料 24千円		<敬老祝い事業実施主体（開催単位）> ・行政区（または2以上の地区連合体） ・老人福祉施設  <敬老祝い事業補助金対象者数、実施主体数>																									
	○敬老祝い事業補助金 25,112千円 2千円 × 12,556人 = 25,112千円 ※75歳以上の対象者1人当たり2千円を交付		<table border="1"> <thead> <tr> <th>峰山町</th> <th>大宮町</th> <th>網野町</th> <th>丹後町</th> <th>弥栄町</th> <th>久美浜町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,524人</td> <td>1,957人</td> <td>3,151人</td> <td>1,355人</td> <td>1,224人</td> <td>2,345人</td> <td>12,556人</td> </tr> <tr> <td>35</td> <td>18</td> <td>22</td> <td>33</td> <td>18</td> <td>12</td> <td>138</td> </tr> </tbody> </table>						峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計	2,524人	1,957人	3,151人	1,355人	1,224人	2,345人	12,556人	35	18	22	33	18	12
峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計																						
2,524人	1,957人	3,151人	1,355人	1,224人	2,345人	12,556人																						
35	18	22	33	18	12	138																						



予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	139,992千円	144,433千円	△ 4,441千円	141,360千円	課	長寿福祉課
	目	04 高齢者福祉費						
	事業	02 老人保護措置事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり						27,932	112,060
目的・趣旨	老人福祉法に基づき、原則65歳以上の方で、家族や住居の状況、経済的理由等のため、在宅生活継続が困難な方に対し、養護老人ホーム等への入所措置を行うことにより、生きがいを持てる健全で、安心して過ごせる生活を保障する。		主な財源	負担金 老人福祉施設措置費負担金				27,932
事業概要	○一般事務費 68千円 ・入所判定委員会委員謝金及び費用弁償 34千円 ・職員旅費、有料道路通行料（施設入退所立会い等） 34千円  ○養護老人ホーム等入所措置費 139,924千円 入所施設：4施設 入所者数：63人 ・事務費 94,926千円 ・一般生活費 39,048千円 ・冬期加算 593千円 ・期末加算 280千円 ・被服費加算 62千円 ・介護保険料加算 114千円 ・介護サービス利用者負担加算 3,919千円 ・入所者処遇特別加算 982千円							

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	6,043千円		6,078千円		△ 35千円		5,746千円			課
	目	04 高齢者福祉費										
	事業	03 老人クラブ 活性化支援事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
総合計画 計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり			3,140								2,903
目的・趣旨	老人クラブ活動に対して助成を行うことにより、単位老人クラブの育成、高齢者の生きがいづくり及び健康づくりを図り、高齢者の社会参加を推進する。		府補	老人クラブ 助成事業費補助金								3,140
事業概要	○老人クラブ活性化支援補助金		6,043千円									
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブ連合会活動促進事業費補助金 72円×1,450人+194,000円</li> <li>・老人クラブ活動費補助金 3,880円×72クラブ×12月</li> <li>・友愛訪問活動事業補助金 介護施設等への訪問慰問</li> <li>・世代間交流事業補助金 市内の園児や児童生徒とスポーツや昔の遊等を通じて交流を促す。</li> <li>・健康づくり事業補助金 スポーツ大会等を通じて会員の生きがいづくりや健康づくりに取り組むとともに、会員以外の高齢者の参加も促す。</li> <li>・啓発・広報広聴促進事業補助金 機関紙を通じて活動紹介、啓発、意見交換を実施</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブ事務局員賃金補助金（1人分） 1,200千円</li> <li>・老人クラブ連合会運営補助金（研修会等参加補助） 132千円</li> </ul>							

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部												
	項	01 社会福祉費	11,550千円	13,229千円	△ 1,679千円	8,024千円	課	長寿福祉課												
	目	04 高齢者福祉費																		
	事業	04 福祉有償運送運営助成事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源												
総合計画 計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり			5,000				6,550												
目的・趣旨	福祉有償運送の実施を支援することにより、在宅の高齢者や障害者が住み慣れた地域で自立した生活を営めるよう外出を支援し、地域福祉の向上を図る。		主な財源	府補 ぎょうと地域連携交付金				5,000												
事業概要	○福祉有償運送事業費補助金 11,550千円  福祉有償運送事業は、営利を目的としないことを前提に許可を受けて実施するという事業の性質上、利用料収入だけでは事業運営が困難であることや、地域福祉における事業の必要性和重要性を考慮して、事業が安定して実施できるよう、京丹後市社会福祉協議会が行う当該事業を支援		<table border="1"> <tr> <td>①利用料収入</td> <td>3,267千円</td> </tr> <tr> <td>②支出合計</td> <td>14,817千円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 人件費</td> <td>8,604千円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>80千円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>6,133千円</td> </tr> <tr> <td>福祉有償運送事業費補助金 (②-①)</td> <td>11,550千円</td> </tr> </table>						①利用料収入	3,267千円	②支出合計	14,817千円	(内訳) 人件費	8,604千円	事務費	80千円	事業費	6,133千円	福祉有償運送事業費補助金 (②-①)	11,550千円
①利用料収入	3,267千円																			
②支出合計	14,817千円																			
(内訳) 人件費	8,604千円																			
事務費	80千円																			
事業費	6,133千円																			
福祉有償運送事業費補助金 (②-①)	11,550千円																			

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	56千円	56千円	0千円	0千円	課	長寿福祉課
	目	04 高齢者福祉費						
	事業	05 生活管理指導事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり							56
目的・趣旨	生活習慣などにより社会生活の適応が困難な高齢者に対して、養護老人ホーム等（満寿園、丹後園）で短期間の宿泊を通じて日常生活の指導及び支援をすることにより、自立した生活を助長する。		主な財源					
事業概要	○生活管理指導事業委託料 56千円 ・生活保護世帯以外の世帯分 29千円 (2,080円×14日×1件) ・生活保護世帯分 27千円 (3,810円×7日×1件)  利用対象者：概ね65歳以上、介護保険法の介護給付及び 予防給付の対象にならない方 利用者負担：1日につき1,730円（生活保護世帯を除く）で、 直接、委託事業所に納付							

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	11,400千円	13,260千円	△ 1,860千円	10,339千円	課	長寿福祉課	
	目	04 高齢者福祉費							
	事業	06 介護サービス利用負担軽減事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源	
総合計画 計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり			8,550				2,850	
目的・趣旨	社会福祉法人等により被保険者に提供される介護保険サービス等の利用者負担について、低所得等の一定基準を満たしている生活困窮者の負担を軽減し、高齢者福祉の増進を図る。		主な財源	府補 介護保険事業費補助金				8,550	
事業概要	○社会福祉法人等利用者負担軽減助成金		11,400千円						
	低所得で生計の維持が困難である者の介護保険サービスの利用について、社会福祉法人等が利用者負担額の軽減を行う場合に、その軽減した額の一部を助成								
		軽減対象認定予定者数：380人							

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	7,663千円	8,873千円	△ 1,210千円	10,096千円	課	長寿福祉課
	目	04 高齢者福祉費						
	事業	07 高齢者福祉施設整備助成事業		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他
総合計画 計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり							7,663

目的・趣旨	法人経営の安定と老人福祉施設の充実を図るため、社会福祉法人の施設整備に係る借入金等の返済の一部を助成する。	主な財源	
-------	---	------	--

事業概要	○老人福祉施設建設資金借入金償還補助金		7,663千円
	補助施設等	補助金額	償還終了年度
	特別養護老人ホーム弥栄はごろも苑建設資金	1,334千円	令和10年度
	第二丹後園特別養護老人ホーム建設資金	355千円	令和6年度
	特別養護老人ホームふるさと建設資金	2,140千円	令和19年度
	特別養護老人ホームふるさと増築資金	1,919千円	令和28年度
	養護老人ホーム満寿園改築資金	84千円	令和10年度
	特別養護老人ホーム満寿園建設資金	1,831千円	令和12年度
	合計	7,663千円	
	補助対象：社会福祉法人が整備する社会福祉施設に係る事業 (平成28年度までの借入れ)		
補助内容：整備に係る資金の元金又は利子の一部			

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	8,486千円	8,709千円	△ 223千円	8,402千円	課	長寿福祉課	
	目	04 高齢者福祉費							
	事業	08 網野高齢者すこやかセンター-施設管理事業		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり						3,425	5,061	
目的・趣旨	在宅の高齢者に対して生きがいや健康づくりの場として、サークル活動などの会場及び入浴施設の提供を図る。		主な財源	使用料	網野高齢者すこやかセンター-使用料				3,425
事業概要	○施設管理業務委託料		3,257千円	<参考>入浴料（税込）（1回） 市内に居住する60歳以上の者 190円 市内に居住する60歳未満の者 290円 市外に居住する者 590円					
	委託先：木津連合区								
事業概要	○施設維持管理経費		5,229千円						
	・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費及び修繕料）		5,042千円						
	・電話代		72千円						
	・消防設備等保守点検委託料		19千円						
	・ボイラー保守点検委託料		77千円						
・使用料及び賃借料（テレビ受信料）		19千円							

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	1,047,835千円	1,074,962千円	△ 27,127千円	1,017,003千円		課
	目	04 高齢者福祉費						
	事業	09 介護保険事業特別会計繰出金						
総合計画 計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
			35,008	17,504				995,323
目的・趣旨	介護保険事業及び地域支援事業の円滑な運営を行うため、一般会計から介護保険給付費の負担相当分（法定割合12.5%）と要介護認定、賦課徴収業務等に係る事務費相当分及び低所得者の第1号保険料軽減分、介護予防事業や包括的支援事業・任意事業に要する経費を繰り出す。		主な財源	国負	介護保険低所得者保険料軽減負担金			35,008
				府負	介護保険低所得者保険料軽減負担金			17,504
事業概要	○介護保険事業特別会計繰出金		1,047,835千円					
	【介護保険事業分】	942,103千円	【地域支援事業分】	105,732千円				
	・介護給付費相当分	804,675千円	・介護予防事業分	20,272千円				
	総給付費×12.5%		介護予防・生活支援サービス事業分・一般介護予防事業分					
	・事務費相当分	6,485千円	事業費×12.5%					
	（一般管理費＋賦課徴収費＋趣旨普及費）×75%		・介護予防事業 基準額超過分・対象外経費分	57,765千円				
	・認定事務費相当分	60,926千円	（基準超過事業費＋対象外経費）×75%					
	（介護認定審査会費＋認定調査等費）×75%		・包括的支援事業分	20,139千円				
	・低所得者保険料軽減相当分	70,017千円	包括的支援、任意事業、社会保障充実分					
			事業費×19.25%					
			・包括的支援事業 対象外経費分	7,556千円				
			対象外経費×75%					



予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	68,000千円	68,000千円	0千円	44,000千円	課	長寿福祉課	
	目	04 高齢者福祉費							
	事業	10 介護サービス事業特別会計繰出金		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり							68,000	
目的・趣旨	京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ及び京丹後市網野デイサービスセンターの運営に要する経費を繰り出す。		主な財源						
事業概要	○介護サービス事業特別会計繰出金		68,000千円						
	<介護サービス事業特別会計収支> 歳入 136,000千円 歳出 204,000千円 (うち借入金償還元金・利子 68,398千円) 収支差 68,000千円								

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額 4,244千円	前年度予算額 4,278千円	増減額 △ 34千円	参考R4決算額 3,533千円	部 健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費						
	目	04 高齢者福祉費						
	事業	11 福祉施設等指定管理施設運営事業						
総合計画 計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
					1,000			3,244
目的・趣旨	<p>民間の強みや特性を活かした指定管理者の管理運営により、利用者へ質の高い多様なサービスを提供するとともに、地域に根差した高齢者の拠点施設機能を果たすことを目的とする。</p>		主な財源	市債 過疎地域持続的発展特別事業債（過疎対策債）				1,000
事業概要	<p>○指定管理施設修繕料 350千円</p> <p>○指定管理委託料（指定管理者、指定管理期間） 3,894千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 網野社会参加交流ハウス 1,779千円 （社会福祉法人あみの福祉会、令和7年度まで）</li> <li>・ 弥栄生きがい交流センター 2,115千円 （社会福祉法人あしぎぬ福祉会、令和7年度まで）</li> </ul>							

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	480千円	480千円	0千円	149千円	課	長寿福祉課
	目	04 高齢者福祉費						
	事業	12 介護予防安心住まい推進事業		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他
総合計画 計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり			480				0
目的・趣旨	生活機能が低下し要支援・要介護状態になるおそれのある65歳以上の高齢者の生活機能の維持のため、住宅改修費用の一部を助成し、高齢者世帯の経済的負担の軽減を図る。		府補	介護予防安心住まい推進事業費補助金				480
事業概要	<p>○介護予防安心住まい推進事業費補助金 480千円</p> <p>特定未認定高齢者で市民税非課税世帯である方に対象工事費の3分の2を助成（上限額160千円×3件）</p> <p>対象工事：手すりの設置、段差の解消、すべり防止等</p> <p>【特定未認定高齢者】 65歳以上で、かつ、要支援又は要介護の認定を受けていないが、今後認定の可能性が高いと市長が判断する高齢者</p>							

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額 13,114千円	前年度予算額 0千円	増減額		参考R4決算額		部	健康長寿福祉部													
	項	01 社会福祉費			13,114千円	0千円	13,114千円	134,626千円			課	長寿福祉課											
	目	04 高齢者福祉費							15 高齢者福祉施設整備事業	国庫支出金			府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源						
	事業																						
総合計画 計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり			13,114						0													
目的・趣旨	介護基盤の整備・充実を図るため、府の補助を活用し、小規模多機能型居宅介護事業所が行う宿泊室増室工事に係る経費を支援する。		主な財源	府補 地域密着型サービス等整備助成事業補助金 13,114																			
				事業概要		<p>○地域密着型サービス施設整備事業費補助金 13,114千円</p> <p>実施法人：社会福祉法人不動園</p> <p>対象施設：あけほの荘</p> <p>補助率：10/10（国2/3、府1/3）</p> <p>事業概要：宿泊室の増室（整備前：3室 → 整備後：4室）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>補助単価 (A)</th> <th>単位 (B)</th> <th>補助金額 (A×B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 施設整備等助成事業</td> <td>12,200千円</td> <td>1室</td> <td>12,200千円</td> </tr> <tr> <td>② 施設開設準備経費等 支援事業</td> <td>914千円</td> <td>1室</td> <td>914千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合計</td> <td>13,114千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業区分	補助単価 (A)	単位 (B)	補助金額 (A×B)	① 施設整備等助成事業	12,200千円	1室	12,200千円	② 施設開設準備経費等 支援事業	914千円	1室	914千円
事業区分	補助単価 (A)	単位 (B)	補助金額 (A×B)																				
① 施設整備等助成事業	12,200千円	1室	12,200千円																				
② 施設開設準備経費等 支援事業	914千円	1室	914千円																				
合計			13,114千円																				

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	19,050千円	19,050千円	0千円	19,050千円	課	長寿福祉課	
	目	04 高齢者福祉費							
	事業	16 シルバ-人材センター運営助成事業		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり							19,050	
目的・ 趣旨	<p>シルバー人材センターを支援することにより、高齢者の就業機会の確保をはじめ、就業及びボランティア活動等による高齢者の社会参加を図り、地域の活性化と福祉の向上を目指す。</p>		主な財源						
事業概要	<p>○京丹後市シルバー人材センター運営費補助金</p> <p>○京都府シルバー人材センター連合会賛助会費</p>		19,000千円	50千円					

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額 367千円	前年度予算額 1,135千円	増減額 △ 768千円	参考R4決算額 2,508千円	部	健康長寿福祉部				
	項	01 社会福祉費						課	長寿福祉課			
	目	04 高齢者福祉費					国庫支出金		府支出金	市債	繰入金	その他
	事業	17 百才活力社会推進事業										
総合計画 計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり						35	332				
目的・趣旨	百歳になってもそれぞれの才能を活かして、学習や趣味、仕事、ボランティアなど、やりたい分野で生涯現役で活躍できる「百才活力社会」の推進に向けて、取組を進める。		主な財源	諸収入 京丹後市百寿人生のレシピ <sup>®</sup> 販売代金 35								
事業概要	<p>&lt;働くシニア応援プロジェクトの実施&gt; 356千円</p> <p>シルバー人材センター等の関係機関と連携し、元気な高齢者の生きがいづくりと健康を増進するとともに、高齢者の就業機会の確保による企業等の人材不足の解消、地域活動への参画等を促進することにより、百才活力社会の推進及び地域の活性化を図る。</p> <p>○高齢者雇用に係る求人状況等調査・分析、高齢者向けの求人チラシの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費（求人情報募集のためのチラシの作成）</li> <li>・印刷製本費（求人情報掲載チラシの作成）</li> </ul> <p>22,000部 12月配布予定 356千円</p>			<p>&lt;京丹後市百寿人生のレシピ第4版 増版&gt; 【健康推進課】 11千円</p> <p>令和4年6月に発行した「～今に生きる～京丹後百寿人生のレシピ第4版」を販売機関へ送付するもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通信運搬費（全国官報販売協同組合への郵送料） 11千円</li> </ul>								

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部							
	項	01 社会福祉費	4,206千円	4,125千円	81千円	2,288千円	課	長寿福祉課							
	目	04 高齢者福祉費													
	事業	18 高齢者外出支援事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源							
総合計画 計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		1,500				2,000	706							
目的・趣旨	<p>国の臨時交付金を活用し、免許返納等により自動車や原付バイクの運転ができなくなったり、身体機能低下により外出機会が減少する高齢者（満75歳以上）の外出支援の一助とするため、タクシー代割引チケットの販売を行う。</p>		<p>主な財源</p>	国補	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	1,500									
				諸収入	高齢者外出支援グッズ-チケット販売代金	2,000									
事業概要	<p>【チケットの種類】 外出支援チケット（1冊4,000円綴りを2,000円で販売） 病院・買い物・公共機関等へ行くための利用したタクシー運賃の支払いに利用できるチケット</p> <p>【対象者】 満75歳以上の方</p> <p>【交付要件等】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和6年度の交付要件</th> <th>購入冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本人・世帯とも住民税非課税</td> <td rowspan="2">3冊</td> </tr> <tr> <td>住民税課税世帯に属し、購入者本人に介護認定あり</td> </tr> <tr> <td>住民税課税世帯に属し、購入者本人に介護認定なし</td> <td>2冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>【利用期限】 購入日から1年間</p> <p>【販売期間】 令和6年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>【販売場所】 長寿福祉課または各市民局（峰山市民局は除く）</p>			令和6年度の交付要件	購入冊数	本人・世帯とも住民税非課税	3冊	住民税課税世帯に属し、購入者本人に介護認定あり	住民税課税世帯に属し、購入者本人に介護認定なし	2冊	<p>○消耗品費 32千円</p> <p>・販売の周知を行うためのチラシ用紙 32千円</p> <p>○印刷製本費 174千円</p> <p>・外出支援チケット作成 61千円</p> <p>・年度当初、事業内容及び販売の周知を行うためのチラシ作成 113千円</p> <p>○高齢者外出支援助成金 4,000千円</p>				
	令和6年度の交付要件	購入冊数													
本人・世帯とも住民税非課税	3冊														
住民税課税世帯に属し、購入者本人に介護認定あり															
住民税課税世帯に属し、購入者本人に介護認定なし	2冊														

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	4,875千円	7,780千円	△ 2,905千円	7,164千円	課	長寿福祉課
	目	04 高齢者福祉費						
	事業	50 高齢者福祉一般経費	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり							4,875
目的・趣旨	高齢者福祉施設の管理及び高齢者福祉事務事業を円滑に進めるための経費		主な財源					
事業概要	○会計年度任用職員任用経費（事務補助・1人） 3,032千円 ○職員旅費 48千円 課長会議（京都市）等 ○需用費 512千円 ・事務用品、参考図書購入、見守りQRコードシール等 162千円 ・光熱水費（旧松風苑分） 300千円 ・修繕料（旧松風苑分） 50千円 ○役務費 415千円 ・老人用電話回線休止手数料 3千円 ・総合賠償補償保険料（認知症あんしん補償事業） 316千円 ・消防設備点検手数料 96千円		○委託料 333千円 ・自家用電気工作物保安管理委託料（旧松風苑分） 160千円 ・旧松風苑施設管理委託料（草刈り、庭木剪定等） 173千円 ○使用料及び賃借料 535千円 ・駐車場使用料 4千円 ・土地借上料 520千円 グループホームかえで（弥栄町溝谷）の土地借上料 440千円 浜詰ふれあいセンター（網野町浜詰）の土地借上料 80千円 ・有料道路通行料 11千円					



予算科目	款	03 民生費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	新	こども部										
	項	02 児童福祉費	1,916千円		2,901千円		△ 985千円		4,094千円			旧	健康長寿福祉部										
	目	01 児童福祉総務費									課	新	こども未来課										
	事業	04 ひとり親家庭対策総合支援事業	旧	生活福祉課																			
総合計画計画項目			25 子育て支援の総合的な推進	1,388									528										
目的・趣旨	ひとり親家庭の母又は父が、就職に有利な資格取得、職業能力開発の取組及び高等学校卒業程度認定試験合格のための講座等の受講に支援金を給付し、生活の負担軽減や自立の促進を図る。	主な財源	国補	自立支援教育訓練給付費補助金								150											
			国補	高等職業訓練促進費補助金								1,013											
			国補	ひとり親家庭高校卒業程度認定試験合格支援費補助金								225											
事業概要	○自立支援教育訓練給付金		200千円		○高等職業訓練促進費								1,351千円										
	ひとり親家庭の母又は父で、就職を目指して技能を身に付けたい方が、資格取得のための講座等を受講する場合、受講者が支払った教育訓練費（入学金、受講料等）の60%に該当する額を給付（上限200千円、12千円以下の場合は対象外）				看護師、准看護師、介護福祉士、保育士、理学療法士、作業療法士、理容師、美容師、調理師、歯科衛生士、歯科技工士、言語聴覚士等の資格を取得するために、養成機関に通学する場合には給付金を、養成カリキュラムを修了した際には修了支援金を給付する。																		
	200千円 × 1人 = 200千円				※ 准看護師養成機関を修了する者が、引き続き看護師の資格を取得するために養成機関で修業する場合や、4年以上の課程の履修が必要な養成機関で修業する場合には、4年間の支給が可能。																		
	○ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援費		300千円		110,500円 × 12月 × 1人 = 1,326千円																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>受講開始時給付金：講座受講費用の4割（上限200千円）</li> <li>受講修了時給付金：講座受講費用の5割から受講開始時給付金の額を差し引いた額（上限50千円）</li> <li>合格時給付金：講座受講費用の1割（上限50千円）</li> </ul>				25,000円 × 1人 = 25千円																			
300千円 × 1人 = 300千円				<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>促進費（月額）</th> <th>修了支援金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民税非課税世帯</td> <td>100,000円</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>上記以外の世帯</td> <td>70,500円</td> <td>25,000円</td> </tr> </tbody> </table>			促進費（月額）	修了支援金	市民税非課税世帯	100,000円	50,000円	上記以外の世帯	70,500円	25,000円									
	促進費（月額）	修了支援金																					
市民税非課税世帯	100,000円	50,000円																					
上記以外の世帯	70,500円	25,000円																					
○母子家庭奨学金申請に関する通知等郵送料		65千円																					

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	新	こども部
	項	02 児童福祉費	31,387千円		33,094千円		△ 1,707千円		34,802千円			旧	健康長寿福祉部
	目	02 子育て支援費									新	子育て支援課	
	事業	07 子育て世代包括支援事業	旧	健康推進課									
			国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源					
総合計画 計画項目	25 子育て支援の総合的な推進		20,509	5,158									5,720
目的・趣旨	妊産婦・乳幼児等の状況を継続的・包括的に把握し、必要な支援や関係機関との連絡調整により、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う。		主な財源	国補	母子保健衛生費国庫補助金								524
				国補	出産・子育て応援交付金								19,985
				府補	出産・子育て応援交付金								5,158
事業概要	○産前産後サポート事業		384千円		○出産・子育て応援給付金支給事業		30,302千円						
	・助産師謝金		242千円		・会計年度任用職員任用経費（助産師1人）		1,144千円						
	（39回：マタニティクラス、赤ちゃんサロン、 パパ&ベビーサロンでの集団指導・個別相談）				・消耗品費、印刷製本費、通信運搬費		158千円						
	・職員旅費（子育てピアネットワーク会議ほか）		27千円		・負担金、補助及び交付金								
・消耗品費（マタニティクラス、両親学級ほか）		115千円		出産応援給付金（290人）		14,500千円							
○産後ケア事業		700千円		妊娠届出時の面談後に、出産応援給付金（5万円）を支給									
産後ケア委託料		600千円		子育て応援給付金（290人）		14,500千円							
・宿泊型：医療機関				出生届出後の面談後に、子育て応援給付金（5万円）を支給									
・デイサービス型：乳児院		100千円											
○子育て支援おむつ用ごみ袋配付事業		1千円											
・消耗品費（配付用袋）													

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	新	こども部
	項	02 児童福祉費	725,264千円		636,598千円		88,666千円		636,942千円			旧	健康長寿福祉部
	目	03 児童福祉措置費									新	こども未来課	
	事業	01 児童手当支給事業	旧	生活福祉課									
			国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源					
総合計画 計画項目	25 子育て支援の総合的な推進		539,232	92,037									93,995
目的・趣旨	次世代の社会を担う子どもたちの育ちを社会全体で支援するため、中学校修了までの子どもを対象に児童手当を支給する。 また、令和6年10月分からの児童手当制度拡充に対応するため、新たな対象者等への制度案内や申請受付事務等を行う。		主な財源	国負	児童手当負担金							535,445	
				国補	子ども・子育て支援事業費補助金							3,787	
				府負	児童手当負担金							92,037	
事業概要	○児童手当給付費		719,530千円	(参考) 児童手当制度拡充内容									
	○児童手当制度拡充対応経費		4,403千円	【令和6年10月分以降の児童手当】									
	・会計年度任用職員任用経費（事務補助員1人・7か月）		2,157千円	・支給対象：高校生年代までの国内に住所を有する児童									
	・消耗品費（申請案内等）		13千円	・多子加算の算定対象：22歳年度末までの子									
	・印刷製本費（申請案内等封筒）		45千円	・所得制限：所得制限なし									
	・通信運搬費（支払通知、申請案内通知書等郵送料）		605千円	・手当月額：【3歳未満】第1子、第2子：15,000円									
	・システム改修負担金		1,583千円	【3歳～高校生世代まで】第1子、第2子：10,000円									
	○その他事務経費		1,331千円	【0歳～高校生世代まで】第3子：30,000円									
	・職員旅費（担当者会議）		12千円	・支払期月：6回（偶数月）（各前月までの2か月分を支払）									
	・消耗品費（事務用品）		80千円	※下線部が現行制度から変更									
・印刷製本費（支払通知書、申請案内等封筒）		256千円	※高校生年代までとは、18歳到達後の最初の年度末まで										
・通信運搬費（支払通知、申請案内通知書等郵送料）		983千円	※22歳年度末までの子とは、22歳到達後の最初の年度末までの子であって、 親等の経済的負担がある子が多子算定の対象										

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額		前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	新	こども部															
	項	02 児童福祉費	171,753千円		175,060千円	△ 3,307千円	166,687千円		旧	健康長寿福祉部															
	目	03 児童福祉措置費						02 児童扶養手当等支給事業	課	新	こども未来課														
	事業		旧	生活福祉課																					
			国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源																	
総合計画 計画項目	25 子育て支援の総合的な推進		57,071						114,682																
目的・趣旨	ひとり親家庭等の児童を監護・養育している母又は父若しくは父母に代わってその児童を監護・養育する者に児童扶養手当を支給し、家庭生活の安定と自立の促進を図る。		主な財源	国負 児童扶養手当給付費負担金 57,071																					
事業概要	○児童扶養手当給付費 171,216千円																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>母子</th> <th>父子</th> <th>養育者</th> <th>手当月額（児童1人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全部支給</td> <td>139人</td> <td>10人</td> <td>－</td> <td>45,500円</td> </tr> <tr> <td>一部支給</td> <td>168人</td> <td>26人</td> <td>－</td> <td>10,740円～45,490円</td> </tr> </tbody> </table>			母子	父子	養育者	手当月額（児童1人）	全部支給	139人	10人	－	45,500円	一部支給	168人	26人	－	10,740円～45,490円								
	母子	父子	養育者	手当月額（児童1人）																					
全部支給	139人	10人	－	45,500円																					
一部支給	168人	26人	－	10,740円～45,490円																					
<p>※児童が2人の場合は、所得により5,380円から10,740円を加算</p> <p>3人以上の場合は、所得により1人増えるごとに3,230円から6,440円を加算。</p> <p>※支払期月：6回（奇数月）</p>																									
○その他事務経費 537千円																									
<ul style="list-style-type: none"> <li>職員旅費（事務担当者会議） 12千円</li> <li>消耗品費（事務用品） 20千円</li> <li>印刷製本費（支払通知書・手続案内封筒） 68千円</li> <li>通信運搬費（手続案内・決定通知・支払通知等郵送料） 437千円</li> </ul>																									

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	新	こども部
	項	02 児童福祉費	500千円	420千円	80千円	231千円	旧	健康長寿福祉部					
	目	03 児童福祉措置費						新	こども未来課				
	事業	03 児童入所施設措置事業					旧		生活福祉課				
			国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源					
総合計画 計画項目	25 子育て支援の総合的な推進		250	125					125				
目的・趣旨	妊産婦が経済的理由により入院助産を受けることができない場合に、必要に応じて、府が指定した助産施設において助産するために入所措置を行う。		主な財源	国負	児童入所施設措置費等負担金					250			
				府負	児童入所施設措置費等負担金					125			
事業概要	○扶助費		500千円										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>助産施設入所費</li> </ul> 500千円 × 1人 = 500千円												

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	03 生活保護費	18,765千円	18,897千円	△ 132千円	116,378千円	課	生活福祉課
	目	01 生活保護総務費						
	事業	02 生活保護運営管理事業					国庫支出金	府支出金
総合計画 計画項目	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		7,733				700	10,332
目的・趣旨	生活保護法に基づく事務を円滑に行い、生活保護費支給事業を適切に運用する。		主な財源	国負	生活困窮者自立支援負担金	5,222		
				国補	生活困窮者自立支援補助金	2,511		
				諸収入	一時支援資金貸付金元金収入	700		
事業概要	○生活保護運営に関する総務費 18,061千円 ・生活保護嘱託医報酬（1人） 981千円 医療扶助の決定・実施に伴う専門的な判断や助言指導を実施 ・就労支援員任用経費（会計年度任用職員・1人） 3,167千円 稼働年齢層の受給者に対し、就労活動を支援 ・生活保護面接相談員任用経費（会計年度任用職員・1人） 3,110千円 生活保護相談者に対し、相談や援助を実施 ・健康管理支援員任用経費（会計年度任用職員・1人） 2,608千円 高度な専門性を持った看護師によって健康課題を持つ被保護世帯の健康指導・相談支援を実施 ・会計年度任用職員研修旅費 88千円 ・職員旅費（会議・研修）、有料道路通行料 405千円 ・参考図書や事務用品等の購入費、封筒等の印刷費 431千円 ・診療報酬と介護保険報酬の審査支払、資産調査手数料 381千円		・生活保護システムサービス利用料 2,984千円 ・生活保護訪問支援、健康管理システム利用サービス料 1,225千円 ・生活保護レセプト管理システムサービス料 2,541千円 （基本サービスに医療扶助オンライン資格確認の導入及び健診情報等のデータ連携サービスを追加） ・要介護認定調査、診療報酬明細書点検の委託料 140千円 ・生活保護申請者の保護決定までの一時支援金（上限30千円） 700千円 ・医療扶助オンライン資格確認等運営負担金 4千円 （社会保険診療報酬支払基金に委託）					

予算科目	款	03 民生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	03 生活保護費	648,233千円	713,258千円	△ 65,025千円	675,724千円	課	生活福祉課
	目	02 生活保護扶助費						
	事業	01 生活保護費支給事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		486,174					162,059
目的・趣旨	生活保護法に基づき、経済的に困窮している世帯に対して、健康で文化的な最低限度の生活を保障するための経済的援助を行うとともに、自立のための支援を行う。		国負	生活保護費負担金				486,174
事業概要	○扶助費		648,233千円					
	・生活扶助費	171,703千円		・葬祭扶助費	1,500千円			
	食費、被服費、光熱水費等日常の生活費			葬祭に必要な経費				
	・住宅扶助費	89,357千円		・施設事務費（救護施設等入所措置費）	4,419千円			
	家賃、地代、家屋の補修費			・就労自立給付金	400千円			
	・教育扶助費	4,020千円		就業等により生活保護を要しなくなった直後の生活を 支え、自立を促進する費用				
	義務教育で必要な教材費、学用品費、給食費等			・進学準備給付金	900千円			
	・介護扶助費	12,394千円		大学等進学の際の新生活準備費用（入学金、授業料、 転居費用等）				
	介護サービスを受けるために必要な経費							
	・医療扶助費	358,759千円						
	病気やケガの治療に必要な経費							
	・生業扶助費	4,781千円						
	仕事に必要な技能の習得や高等学校就学に必要な経費							

予算科目	款	04 衛生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費	905千円	931千円	△ 26千円	881千円	課	健康推進課
	目	01 保健衛生総務費						
	事業	02 保健センター管理運営事業						
総合計画 計画項目	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
								905
目的・趣旨	市民の疾病予防、健康の保持増進を図るため、総合検診後の結果報告会、健康指導及び健康教育等の保健活動の拠点となる保健センター（大宮・網野）の適切な管理を行う。		主な財源					
事業概要	○大宮保健センター、網野保健センターの維持管理経費 ・消耗品費（衛生用品ほか） ・燃料費（ガス代） ・光熱水費（電気、水道） ・修繕費（施設維持のための修繕費） ・役務費（ごみ持込処理手数料） ・施設清掃委託料（網野保健センター）		905千円 10千円 60千円 614千円 50千円 4千円 167千円					



予算科目	款	04 衛生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部	
	項	01 保健衛生費	482千円	533千円	△ 51千円	372千円	課	健康推進課	
	目	01 保健衛生総務費							
	事業	03 自殺対策事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源	
総合計画 計画項目	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり			283				199	
目的・趣旨	「第3次京丹後市自殺のないまちづくり行動計画」に基づき、自殺ゼロの実現を目指し、悩んでいる人に気づき、聴き、つなぎ、見守る支援者を養成するとともに、普及啓発、相談支援等「生きることの包括的支援」として自殺対策の取組を推進する。		府補	自殺対策事業補助金				283	
事業概要	〇こころの健康づくり講演会		90千円	〇自殺ゼロ実現推進協議会					21千円
	・ 講演講師謝金		42千円	・ 費用弁償（参与交通費）					14千円
	・ 消耗品費（チラシ・普及啓発用品など）		48千円	・ 消耗品費（事務用品代）					3千円
	〇こころ・いのち・つなぐ手（ゲートキーパー）研修会		200千円	・ 通信運搬費（委員案内及び資料送付郵送料）					4千円
	・ 研修会講師謝金（6回分）		145千円	〇その他経費					27千円
・ 消耗品費 （チラシ・相談窓口一覧及びゲートキーパー手帳用紙代ほか）		55千円	・ 普通旅費（職員研修、会議出席ほか）						
〇街頭啓発		69千円							
・ 消耗品費（相談窓口一覧用紙、ポケットティッシュほか）		49千円							
・ 印刷製本費（ポケットティッシュ用リーフレット印刷）		20千円							
〇若年層対策事業		75千円							
・ 消耗品費 （こころのメッセージファイル、メッセージ用紙代）		75千円							

予算科目	款	04 衛生費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費	10,931千円		9,880千円		1,051千円		17,410千円			課
	目	01 保健衛生総務費										
	事業	50 保健衛生総務一般経費	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
総合計画 計画項目	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		21	70								10,840
目的・趣旨	会計年度任用職員任用経費のほか、研修旅費、各種負担金などにより、保健事業を円滑に実施する環境を整える。		主な財源	国補	予防接種健康被害調査費補助金							21
				府補	骨髄ドナー助成事業補助金							70
事業概要	○予防接種健康被害調査委員会委員報酬・費用弁償		29千円	○負担金		1,855千円						
	○会計年度任用職員任用経費 (育休代替：保健師3人)		8,408千円	・京都府栄養士会負担金		30千円						
	○職員旅費		397千円	・京都府市町村保健師協議会負担金		37千円						
	○需用費 ・消耗品費(書籍、研修会資料代ほか)		100千円	・市町村栄養士研究会負担金		6千円						
	○使用料及び賃借料 ・駐車場使用料		2千円	・健康管理システム共同利用負担金		1,782千円						
	○骨髄ドナー助成金(1件)		140千円									

予算科目	款	04 衛生費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	健康長寿福祉部	
	項	01 保健衛生費	1,339千円	1,072千円	267千円	515千円	健康推進課						
	目	02 保健対策費											
	事業	01 健康づくり・食育推進事業					国庫支出金		府支出金		市債		繰入金
総合計画 計画項目	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり			638								701	
目的・趣旨	健康づくり推進員、食生活改善推進員の育成や養成を行い、健康づくりや食育の普及啓発にかかる地域活動等を支援することにより、市民主体の健康づくり及び生涯を通じた食育を推進する。		主な財源	府補	健康増進事業費等補助金							216	
				府補	消費・安全対策交付金							422	
事業概要	○健康づくり事業		459千円		○食育推進事業							880千円	
	①健康づくり推進員（第7期健康づくり推進員の育成・活動支援）				①施策の方向Ⅰ「共食・朝ごはん・食事バランス」								
	・医師謝金		29千円		・食生活改善推進員の育成事業							33千円	
	・健康運動指導士謝金		46千円		（調理材料・消耗品ほか）								
	・健康づくり推進員活動費（3千円×44人）		132千円		・食生活改善推進員による伝達講習会							90千円	
	・費用弁償		5千円		（講師謝金・5支部×3回）								
	・消耗品費（研修会資料ほか）		29千円		・食育プログラム作成及び啓発資料印刷代（団体及び保護者等）							78千円	
	・役務費（研修会案内等の郵便代）		55千円		・朝ごはんノート・ラジコンマット印刷代（保育所・こども園児童）								
	②歩いてすすめる健康づくり（Let'sチャレンジウォーキング、イベント開催）				【こども未来課】							107千円	
	・消耗品費				②施策の方向Ⅱ「地産地消・食文化」								
	Let'sチャレンジウォーキング 啓発グッズ		110千円		・食文化伝承推進事業（講師謝金25回）							300千円	
	ウォーキングカード印刷用紙代		3千円		・お魚料理教室（調理材料ほか）【海業水産課】							216千円	
	ウォーキングカードカラーコピー代		10千円		・子どもクッキング教室（教材消耗品ほか）【子育て支援課】							42千円	
	ウォーキングアプリ・イベント 啓発チラシ代		25千円		・食育推進ネットワーク（郵送料・費用弁償）							14千円	
	ウォーキングイベント事務用品代		15千円		*関係機関・団体13、庁内7課で構成								

予算科目	款	04 衛生費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	新	こども部	
	項	01 保健衛生費	2,890千円	4,630千円	△ 1,740千円	1,884千円	旧	健康長寿福祉部						
	目	03 母子保健費						新	子育て支援課					
	事業	01 不妊・不育症治療費助成事業					旧		健康推進課					
			国庫支出金		府支出金		市債		繰入金		その他		一般財源	
総合計画 計画項目	25 子育て支援の総合的な推進			1,220									1,670	
目的・趣旨	少子化対策の一環として、不妊・不育症治療を受けている夫婦に対して、その治療に要する費用の一部を助成するとともに、特定不妊治療の通院に要した費用の一部を助成することにより経済負担の軽減を図り、安心して治療が受けられる環境を整える。		主な財源	府補 不妊治療給付事業助成費補助金 1,220										
事業概要	○不妊・不育症治療費助成事業 2,440千円 <不妊治療> ・保険診療分 1,215千円 （自己負担の1/2の額、助成限度額：60千円/治療年度） ・先進医療 1,125千円 （自己負担の1/2の額、助成限度額：100千円/治療年度） <不育症治療> 100千円 ・習慣流産など不育症に係る保険適用治療（ヘパリン療法等の助成） （自己負担の1/2の額、助成限度額：100千円/1回の妊娠）		○特定不妊治療通院交通費助成事業 450千円 1回（1クール）の特定不妊治療に係る通院交通費について、京都府の助成対象とならない費用について、1人当たり10千円を上限に助成（補助率10/10）											

予算科目	款	04 衛生費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	新	こども部
	項	01 保健衛生費	11,002千円		11,057千円		△ 55千円		11,477千円			旧	健康長寿福祉部
	目	03 母子保健費									新	子育て支援課	
	事業	02 母子健康支援事業	旧	健康推進課									
			国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源					
総合計画 計画項目	25 子育て支援の総合的な推進		560	2,603					7,839				
目的・趣旨	子育て期間を通じて、乳幼児健康診査事業、むし歯予防事業、離乳食教室を実施することにより、乳幼児の疾病や障害の早期発見・早期治療・早期療育を促し、子どもの健やかな成長発達を支援するとともに、保護者の育児不安の解消と虐待防止を図る。		国補	母子保健衛生費国庫補助金				560					
			府補	きょうと地域連携交付金				2,000					
			府補	ﾌｯ素による子どものむし歯予防事業費補助金				603					
事業概要	○乳幼児健康診査事業		7,886千円		○むし歯予防事業		216千円						
	対象：4か月児、10か月児、1歳8か月児、2歳6か月児、3歳児				① フッ化物洗口事業（認定こども園・保育所の4、5歳児に実施）								
	内容：小児科診察、歯科診察及び指導、保健指導、栄養指導				・消耗品費（ポリコップ等）		7千円						
	・会計年度任用職員任用経費（保健師1人、歯科衛生士2人）		950千円		・医薬材料費（フッ化物製剤、ポリコップ消毒液）		116千円						
	・医師謝金（小児科医師・79回分）		4,345千円		② 歯科教室（認定こども園・保育所の親子を対象）								
	・歯科医師謝金（歯科医師・67回分）		1,883千円		・歯科衛生士謝金（14回分）		87千円						
	・費用弁償（小児科医師・歯科医師・会計年度任用職員）		78千円		・消耗品費（チラシ用紙ほか）		6千円						
	・需用費（消耗品費、医薬材料費、印刷製本費）		419千円		○新生児聴覚スクリーニング検査		1,207千円						
	・通信運搬費（健診案内通知ほか）		192千円		・委託料		1,106千円						
	・手数料（体重計検定※2年に1回の検定）		19千円		・助成金（委託医療機関以外で受診した場合）		101千円						
○新生児訪問		16千円		○1か月児健診支援事業		1,543千円							
・消耗品費（チラシ用紙）		16千円		・通信運搬費（受診券郵送料）		10千円							
○離乳食教室（離乳食前期・後期）		134千円		・委託料		1,533千円							
・消耗品費（材料費ほか）		109千円											
・通信運搬費（案内通知）		25千円											

予算科目	款	04 衛生費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	新	こども部
	項	01 保健衛生費	28,485千円		27,275千円		1,210千円		25,540千円			旧	健康長寿福祉部
	目	03 母子保健費									新	子育て支援課	
	事業	03 妊産婦健康支援事業	旧	健康推進課									
			国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源					
総合計画 計画項目	25 子育て支援の総合的な推進		1,100	10,059									17,326
目的・趣旨	妊婦健康診査、妊婦歯科健康診査、産婦健康診査を実施することにより、安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整え、妊産婦の健康づくりを支援する。		主な財源	国補	母子保健衛生費国庫補助金								1,100
				府補	きょうと地域連携交付金								10,000
				府補	母子手帳購入補助金								59
事業概要	○妊婦健康診査事業 25,917千円				○妊婦歯科健康診査事業 468千円								
	妊婦及び胎児の健康管理のため、妊婦が受診する基本健診14回と追加健診（検査）14回の受診費用の一部を負担（多胎妊婦の場合は、基本健診6回、追加健診3回を加える） <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費（母子健康手帳ほか） 140千円</li> <li>・印刷製本費（妊婦・妊婦歯科・産婦健診受診券綴ほか） 241千円</li> <li>・妊婦健康診査委託料 24,576千円</li> <li>・妊婦健康診査助成金（里帰り出産者などへの償還払い） 796千円</li> <li>・多胎妊婦健康診査委託料 89千円</li> <li>・多胎妊婦健康診査助成金（里帰り出産者などへの償還払い） 45千円</li> <li>・初回産科受診料助成金 30千円</li> </ul>				妊婦の口腔衛生向上を図るため、妊婦が受診する歯科健診の費用を負担（1回の妊娠につき、1回の助成） <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦歯科健診委託料 450千円</li> <li>・妊婦歯科健康診査助成金（里帰り出産者などへの償還払い） 18千円</li> </ul>								
		○産婦健康診査事業 2,100千円											
		産後うつ予防、新生児への虐待予防等を図るため、産婦が受診する健康診査（2週間健診及び1か月健診）の費用の一部を負担											
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・産婦健康診査委託料 1,950千円</li> <li>・産婦健康診査助成金（里帰り出産者などへの償還払い） 150千円</li> </ul>											

予算科目	款	04 衛生費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	新	こども部	
	項	01 保健衛生費	560千円	503千円	57千円	393千円	旧	健康長寿福祉部						
	目	03 母子保健費						新	子育て支援課					
	事業	04 発達障害児等早期発見・早期療育支援事業					旧		健康推進課					
			国庫支出金		府支出金		市債		繰入金		その他		一般財源	
総合計画 計画項目	25 子育て支援の総合的な推進		256	27									277	
目的・趣旨	発達障害等により集団生活に困り感のある幼児の早期発見・早期療育の観点から、子どもと保護者が安心して就学を迎えられるよう、関係機関と連携し、支援体制を構築する。		主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金	54								
				国補	児童虐待防止等対策総合支援事業費補助金	202								
				府補	障害者地域生活支援事業費補助金	27								
事業概要	○発達支援相談員謝金	530千円	【対象者】 ・市内保育所及び認定こども園に通う4歳児（年中児）とその保護者 （1）一次スクリーニング（17回） 問診票から抽出された幼児を対象にスクリーニングを実施 （2）事後支援 ① 園巡回支援（35回） 行動観察、カンファレンスにより今後の支援の検討と助言 ② 子育て相談（18回） 発達支援相談員による子どもの成長発達の確認と保護者支援 ③ ほめ方教室（6回シリーズ） 教室参加希望をされた保護者にペアレントトレーニングを実施  ・発達やからだの不器用さに不安を持つ3歳児以下の子どもとその保護者 （1）作業療法士の個別相談（14回） 健診や保育所及びこども園で必要な対象児に対して個別相談を実施											
	○発達支援相談員費用弁償	15千円												
	○消耗品費	15千円												
	（問診票等用紙、ほめ方教室テキストファイルほか）													

予算科目	款	04 衛生費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費	1,337千円	1,351千円	△ 14千円	1,162千円	課	健康推進課
	目	04 健康推進費						
	事業	01 健康相談・指導事業						
総合計画 計画項目	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
				213				1,124
目的・趣旨	生活習慣病をはじめとした疾病予防、介護予防などを目的に、健康に関する知識の普及啓発及び健康相談・健康教育を行い、早世予防、健康寿命の延伸、健康の保持増進を図る。		主な財源	府補 健康増進事業費等補助金				213
事業概要	<p>検診結果をもとに疾病の予防・健康の保持増進、医療機関の早期受診につながるよう保健・栄養指導を実施。（10会場・約42日間）</p> <p>○結果報告会 1,239千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費 91千円</li> <li>・印刷製本費（各種封筒、リーフレット印刷） 240千円</li> <li>・通信運搬費（検診結果郵送料） 908千円</li> </ul> <p>○生活習慣病重症化予防事業（慢性腎臓病対策事業） 32千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費 14千円</li> <li>・通信運搬費（案内・連絡票郵送料） 18千円</li> </ul> <p>○歯周病疾患予防事業 20千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費（指導用パンフレット、普及啓発用資材ほか） 20千円</li> </ul>		<p>○骨粗しょう症予防対策 46千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費（綿花、消毒用エタノールほか） 25千円</li> <li>・通信運搬費（骨密度測定機器借用運搬代 4回分） 21千円</li> </ul>					



予算科目	款	04 衛生費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費	115,626千円		131,140千円		△ 15,514千円		109,106千円		課	健康推進課
	目	04 健康推進費										
	事業	03 総合検診事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
総合計画 計画項目	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		43	3,201		40,000	8,078	64,304				
目的・趣旨	がんや疾病の早期発見と、健康管理の意識を高めることにより、生活習慣病の予防につなげる。		主な財源	国補	感染症予防事業費等補助金	43						
				府補	健康増進事業費等補助金	3,201						
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金	20,000						
				繰入金	再編交付金事業基金繰入金	20,000						
				諸収入	後期高齢者医療保健事業補助金	7,984						
				諸収入	京都府後期高齢者医療広域連合長寿・健康増進事業費補助金	94						
事業概要	健康診査と各種がん検診等を同時に受けることができる総合検診を地域の公民館や体育館等で実施（11会場・39日間）			各種がん検診 検診項目：胃がん、大腸がん、肺がん（結核）、前立腺がん、子宮頸がん、乳がん、肝炎ウイルス検査 ※ 加入保険に関係なく受診可。検診項目によって年齢制限あり								
	○需用費（消耗品費・燃料費・印刷製本費）	470千円	○役員費（通信運搬費：申込書、受診案内、精検未受診者受診 勧奨通知）	1,804千円	・バス運転委託料	43千円	・総合検診会場設営等委託料	433千円				
	○委託料	113,334千円	○使用料及び賃借料（駐車場使用料）	18千円								
	・総合検診委託料	112,858千円	健康診査（身体計測、血液検査、尿検査、医師診察など） 対象者：20歳～39歳（加入保険の種類は不問）、生活保護世帯、75歳以上及び40～74歳の後期高齢者医療加入者、 ※ 40～74歳の国保加入者（特定健診対象者）は、国民健康保険事業特別会計で計上									

予算科目	款	04 衛生費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費	49,856千円		0千円		49,856千円		0千円			課
	目	05 予防費										
	事業	01 成老人の予防接種事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
総合計画 計画項目	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		1,710			19,277		28,869				
目的・ 趣旨	高齢者等における感染の恐れがある疾病の発生及び感染予防、発病防止、症状の軽減、病気のまん延防止のため、予防接種法に定める個別予防が中心の予防接種を実施する。		主な 財源	国負	予防接種健康被害給付費負担金							803
				国補	感染症予防事業費等補助金							907
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金							15,000
				繰入金	再編交付金事業基金繰入金							4,277
事業 概 要	○需用費 (パンフレット、予診票用紙、各種消耗品、予診票印刷ほか)		331千円	○予診のみ(未接種者分)							44千円	
	○予防接種案内通知郵送料		542千円	○扶助費(A類疾病・B類疾病に係る償還払い)							236千円	
	○国保連合会審査支払手数料		30千円	○予防接種健康被害給付金 ※予防接種による健康被害が認定された者へ支払われる医療費・医療手当							666千円	
	○高齢者インフルエンザ予防接種委託料		41,676千円									
	○高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種委託料		4,101千円									
	○麻しん風しんワクチン予防接種委託料 (風しん追加的対策※)		914千円									
	○風しん抗体価検査委託料(風しん追加的対策※)		1,316千円									

予算科目	款	04 衛生費	103,872千円	0千円	103,872千円	0千円	部 課	新	こども部
	項	01 保健衛生費						旧	健康長寿福祉部
	目	05 予防費						新	子育て支援課
	事業	02 子どもの予防接種事業						旧	健康推進課
総合計画 計画項目	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源	
				93		70,000		33,779	
目的・趣旨	子どもにおける感染の恐れがある疾病の発生及び感染予防、発病防止、症状の軽減、病気のまん延防止のため、予防接種法に定める集団予防を重点とする予防接種を実施する。		主な財源	府補	風しん予防接種助成事業補助金	93			
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金	70,000			
事業概要	○需用費		300千円	○扶助費（償還払い）		1,434千円			
	(パンフレット、予診票用紙、各種消耗品、予診票印刷ほか)								
	○予防接種案内通知郵送料		321千円						
	○国保連合会審査支払手数料		9千円						
	○子どもの予防接種委託料		101,808千円						
	BCG予防接種		麻しん風しん混合予防接種						
	日本脳炎予防接種		四種混合予防接種						
	水痘予防接種		ヒブ予防接種						
小児用肺炎球菌予防接種		二種混合予防接種							
B型肝炎予防接種		子宮頸がん予防接種（※）							
ロタウイルス予防接種									
<p>※平成25年6月から積極的勧奨を差し控えていた子宮頸がん予防接種は、令和4年度から定期接種として勧奨を再開。この間、接種機会を逃した方（平成9年度生～17年度生）は、令和7年3月まで定期接種の対象。</p>									

予算科目	款	04 衛生費	本年度予算額 5,279千円	前年度予算額 14,855千円	増減額 △ 9,576千円	参考R4決算額 16,517千円	部 健康長寿福祉部	
	項	01 保健衛生費						
	目	05 予防費						
	事業	03 感染症予防対策事業						
総合計画 計画項目	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
						4,500		779
目的・趣旨	新型コロナウイルス感染症対策として必要な環境を整え、感染防止を図る。		主な財源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金 4,500				
事業概要	○新型コロナウイルス感染症対策用物品購入経費 (手指消毒液、ハンドソープ、備蓄品等)		2,795千円					
	○次亜塩素酸水運搬事業		2,484千円					
	・消耗品費 (VOX専用電解溶液)		84千円					
	・燃料費 (運搬車両分)		228千円					
	・修繕料 (運搬車両分)		124千円					
	・保険料 (運搬車両分)		36千円					
	・委託料 (次亜塩素酸水生成等業務、装置保守点検)		2,007千円					
	・公課費 (自動車重量税)		5千円					

予算科目	款	07 商工費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	健康長寿福祉部
	項	01 商工費	7,125千円	6,552千円	573千円	5,944千円	課	生活福祉課
	目	01 商工総務費						
	事業	02 消費生活推進事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	11 防犯・交通安全対策の推進			4,287				2,838
目的・ 趣旨	消費生活相談員を配置し、情報化社会の進展、在宅やオンライン利用時間の拡大により、巧妙化、増加する消費者トラブルや多重債務等の相談に対し、弁護士等の専門家と連携して助言やあっせんなどの対応を行う。 また、消費生活学習グループの地域見守り活動を支援し連携することで、トラブルの未然防止と早期解決を図るとともに、啓発活動や消費者教育を推進する。		主な財源	府補 消費者行政活性化事業費補助金				4,287
事業概要	○会計年度任用職員任用経費（消費生活相談員・2人）		6,431千円					
	○報償費 ・消費者教育講座の講師謝金と消費者啓発活動の謝金		90千円					
	○補助金 ・消費生活学習グループ活動費補助金（補助率：2/3以内）		250千円					
	○その他経費		354千円					
	・消費生活相談員研修等旅費、職員旅費		103千円					
	・通信運搬費（電話代）		108千円					
	・公用車維持経費（燃料費、修繕料等）		66千円					
	・消耗品（事務用品、参考図書、子ども教室資材等）		68千円					
	・負担金（消費生活相談員研修講座負担金等）		9千円					

予算科目	款	04 衛生費	3,480千円	5,824千円	△ 2,344千円	1,928千円	部 市民環境部	課 保険事業課
	項	01 保健衛生費						
	目	04 健康推進費						
	事業	02 高齢者フレイル予防事業【再掲】						
総合計画 計画項目	09 地域包括医療・ケア体制の充実		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
							3,215	265
目的・趣旨	<p>保健師や管理栄養士等の医療専門職が国保データベースシステムの活用等により、健康課題及び事業の対象者を把握し、高齢者の特性に応じた保健事業を実施することで、生活習慣病の重症化とフレイルの予防を図り、健康寿命の延伸や介護予防につなげる。</p> <p>また、歯科の健康診査を実施し、口腔機能の低下や肺炎などの疾病を予防する。</p>		主な財源	諸収入	後期高齢者医療保健事業補助金	1,298		
				諸収入	後期高齢者医療保健事業委託金	1,917		
事業概要	<p>京都府後期高齢者医療広域連合の委託を受けて取り組む「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施」事業。病気・フレイル等のリスクが高い方への個別支援と、集いの場に出向いて健康教育や健康相談を行う集団支援を実施する。</p> <p>〈個別支援（ハイリスクアプローチ）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重症化予防対策（糖尿病性腎症・高血圧症）</li> <li>栄養改善推進事業（低栄養）</li> <li>健康状態不明対策</li> </ul> <p>〈集団支援（ポピュレーションアプローチ）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の集いの場で、フレイル予防の健康教育等</li> </ul>			○後期高齢者歯科健診経費	992千円			
	<p>○地域担当人件費</p> <p>・会計年度任用職員任用経費（保健師1人及び管理栄養士1人）</p> <p>○地域担当の活動に要する経費</p> <p>・普通旅費、消耗品費、燃料費、印刷製本費、通信運搬費</p>	1,450千円	469千円	<p>○後期高齢者歯科健診経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消耗品費、印刷製本費、通信運搬費</li> <li>後期高齢者歯科健診委託料</li> </ul> <p>○国保データベースシステム関連経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>データ管理手数料</li> <li>国保データベース運用サポート負担金</li> </ul> <p>※フレイルとは</p> <p>加齢にともない、気力や体力など心身の活力が低下した状態をいう。健康と要介護状態の間のような状態で、放置すると健康や生活機能を損なうおそれがあるが、早期に発見し、生活習慣を見直すことで、進行を抑制したり、健康な状態に戻したりすることができる。</p>				